

# 一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷 和比古 編

▶ A 5判・550頁／定価 8,925円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1580-5

2011年8月刊行

## 内容目次

### 【序論】

一八世紀日本の「知」的革命 Intellectual Revolution  
笠谷和比古 (国際日本文化研究センター教授)

### 【思潮】

江戸中期における擬古主義の流行に関する臆見  
宮崎修多 (成城大学文芸学部教授)

太宰春臺における古文の「體」「法」重視  
—古文辞「習熟」論に鑑みて—  
竹村英二 (国士舘大学21世紀アジア学部教授)

一八世紀日本の新思潮—国学と蘭学の成立—  
前田勉 (愛知教育大学教育学部教授)

蘭方医が受容した一八世紀の西洋医療  
—治療法の根拠と理論展開—  
フレデリック・クレインス (国際日本文化研究センター准教授)

昌益とシェリング—その自然と医の思想—  
松山壽一 (大阪学院大学経営学部教授)

享保期における改暦の試みと西洋天文学の導入  
和田光俊 (科学技術振興機構職員)

漢訳西洋曆算書と『天学雑録』  
—楢田軌道論と物体落下法則の受容をめぐって—  
小林龍彦 (前橋工科大学教授)

### 【経済と社会】

一八世紀新興問屋商人の広域的活動とネットワーク  
—津軽領・足羽次郎三郎の活躍—  
長谷川成一 (弘前大学人文学部教授)

東北農村における家の歴史人口学的分析  
—一八・一九世紀の人口変動に着目して—  
平井晶子 (神戸大学大学院人文学研究科准教授)

江戸書物問屋の仲間株について—出版界の秩序化—  
藤實久美子 (ノートルダム清心女子大学文学部准教授)

江戸時代の日本人は日本をどう発見したか  
ヘルベルト・プルチョウ (元・城西国際大学人文学部教授)

### 【文化の諸相】

熊沢蕃山の楽思想と一八世紀への影響  
武内恵美子 (秋田大学教育文化学部准教授)

一八世紀のいけ花  
—「たて花」「立花」「抛入」の相関を通して—  
小林善帆 (京都女子大学他非常勤講師)

大嘗会再興と庶民の意識  
森田登代子 (桃山学院大学非常勤講師)

一八世紀における武術文化の再編成  
—社会的背景とその影響—  
魚住孝至 (国際武道大学体育学部教授)

享保期の異国船対策と長州藩における大砲技術の継承  
—江戸中期の大砲技術の展開—  
郡司健 (大阪学院大学企業情報学部教授)

### 【国際交流】

歌舞伎と琉球・中国  
武井協三 (国文学研究資料館教授)

琉球の中国貿易と輸入品—海を越えた唐紙—  
真栄平房昭 (神戸女学院大学大学院文学研究科教授)

一八世紀朝鮮国の儒学界とそれがみた日本の儒学  
平木實 (国際日本文化研究センター共同研究員)

ソウルに伝えられた江戸文人の詩文  
—東アジア学芸共和国への助走—  
高橋博巳 (金城学院大学文学部教授)

一八世紀～一九世紀初頭における  
露・英の接近と近世日本の変容  
岩下哲典 (明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授)

引き継がれた外交儀礼—朝鮮通信使から米国総領事へ—  
佐野真由子 (国際日本文化研究センター准教授)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	一八世紀日本の文化状況と国際環境		本体8,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1580-5
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

# 公家と武家シリーズ [全5冊]

国際日本文化研究センターで行われた公家(貴族)と武家に焦点を合わせた共同研究の成果シリーズ。武士層が成長した地域と、文官支配が優越した地域との差異に着目。前近代社会における支配エリートであったそれらの身分や職能のもつ意味、その秩序の形式、社会的役割といったものを多角的に検討した論集。



## IV 官僚制と封建制の比較文明史的考察

笠谷和比古 編 ISBN978-4-7842-1389-4  
▶A5判・544頁／定価 8,925円

## III 王権と儀礼の比較文明史的考察

笠谷和比古 編 ISBN4-7842-1322-8  
▶A5判・458頁／定価 8,190円

## II 「家」の比較文明史的考察

笠谷和比古 編 ISBN4-7842-1019-9  
▶A5判・530頁／定価 9,870円

## I その比較文明史的考察

村井康彦 編 ISBN4-7842-0891-7  
▶A5判・444頁／定価 8,190円

## 国際シンポジウム 公家と武家の比較文明史

笠谷和比古 編 ISBN4-7842-1256-6  
▶A5判・490頁／定価 8,400円

## 九州の蘭学 越境と交流

ヴォルフガング・ミヒェル・鳥井裕美子・川島真人編

近世、西洋への唯一の窓口であった長崎及び九州各地で、人々が在来の学術とは異なる西洋近代科学にどう向き合い、学び取って、世のため人のために役立てたのか、あるいは来日した西洋人が、知的交流や技術移転にどれほど貢献したのかを、最新の研究成果に基づき、彼らの業績と足跡を通して明らかにする。  
▶46判・380頁／定価 2,625円 ISBN978-4-7842-1410-5

## 朝鮮通信使の研究

李元植著

朝鮮通信使の訪日における交歓、すなわち筆談と詩文唱和の文事こそ両国の善隣友好を支えた基調であるとの視点から、数多くの貴重な文献・史料を検証し、交歓の実態を明らかにすると同時に、両国文化の異同・相互の認識と理解、そして筆談唱和のもつ意義とその影響について究明する。  
▶A5判・736頁／定価 15,750円 ISBN4-7842-0863-1

## 漂流記録と漂流体験

倉地克直著

1830年に岡山を出航した神力丸が太平洋上を2ヶ月漂流した後、フィリピンの無人島へ漂着した。本書は研究篇としてそれらの漂流記録を丁寧に比較検討し、漂流記録の史的価値についてひとつの試論を示す。さらに記録を通して漂流体験を再現し、漂流民の異国認識や異国交流の実態を探る。史料篇では神力丸漂流事件の典型的な記録を翻刻。  
▶A5判・352頁／定価 7,875円 ISBN4-7842-1225-6

## 知の伝達メディアの歴史研究

辻本雅史編

「学校困難」な21世紀、教育はどこへ向かうのか。本書は「教育」を「知の伝達」ととらえ直し、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、これまでのような、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも、学校を越えたところでなされる人間形成の営みを、全体としてとらえなおす視点を提示する。  
▶A5判・300頁／定価 5,985円 ISBN978-4-7842-1500-3

## 関ヶ原合戦と近世の国制

笠谷和比古著

徳川時代270年のまさに端緒となった関ヶ原合戦が内包していた諸問題の再検証と、合戦後の領地配分(地政学的状況)にみられる支配の実態、將軍制をめぐる思惑と確執、家康と秀頼の関係などを通して豊臣と徳川の「二重公儀体制」の実態を明かし、徳川家康の政権構想と近世天皇制との関係を論じる著者最新の論集。  
▶A5判・280頁／定価 6,090円 ISBN4-7842-1067-9

## 東アジアの本草と博物学の世界(上・下)

山田慶兒編

【上巻】本草における分類の思想／幕府典薬頭の手記に見える本草／秘伝花鏡小考／江戸時代動物図譜における転写 ほか  
【下巻】徳川吉宗の享保改革と本草／享保改革期の朝鮮薬材調査／イスラム圏の香料薬種商／小野蘭山本草講義本編年表 ほか  
上巻▶A5判・364頁／定価 7,875円 ISBN4-7842-0883-6  
下巻▶A5判・376頁／定価 7,875円 ISBN4-7842-0885-2

## 「封建」・「郡県」再考 東アジア社会体制論の深層

張翔・園田英弘共編

中国と日本の知識人による「封建・郡県」をめぐる対話の歴史を再検討する。中央と地方の関係だけでなく、秩序と規範、教育と学問、自国と外来勢力、科挙制と身分制、家族とコミュニティの構造、官僚制、議会民主制などの視角も取り入れた論考13篇を収録。国際日本文科研究センターで行われた共同研究の成果。  
▶A5判・412頁／定価 6,825円 ISBN4-7842-1310-4

## 阿蘭陀宿海老屋の研究 [研究篇・史料篇]

片桐一男著・校訂

江戸参府途上、オランダ商館長や通詞が滞在した京都の定宿海老屋の史料「皇都阿蘭陀人宿(荷蘭館)文書」「村上家(阿蘭陀宿)文書」(神戸市立博物館蔵)を基に、「人」「物」「情報」の通過点であった阿蘭陀宿の目的・機能・史的意義を探る。史料篇には「御用書留日記」「シーボルト事件の廻状」など村上家文書の翻刻を収録。  
▶A5判・総850頁／定価 17,850円 ISBN4-7842-0966-2

## 本草学と洋学 小野蘭山学統の研究

遠藤正治著

本草学は、医学・天文学などと並んで西洋の近代科学と対比される東アジアの伝統的科学的科学の一つ。本書では、日本本草学の頂点、小野蘭山の学統を考察の対象にし、洋学の影響を受け国際的視野を備えた博物学的な本草研究の実態を探り、わが国最初の近代的植物図譜『草木図説』誕生の環境を明らかにする。  
▶A5判・400頁／定価 7,560円 ISBN4-7842-1150-0

## 近世東アジア海域の文化交渉

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後に登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。  
▶A5判・472頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1538-6

## 東アジア経済史研究 第一集

大阪経済大学日本経済史研究所編

日本における研究を発信するだけでなく、世界、アジアにおける研究情報を系統的に取り込み、データベース化し国際的な研究の発展と交流を目指して行われた第1回東アジア経済史研究会「近世・近代の東アジア経済史研究」。本書は、その報告を基にした10篇を収録し、東アジア史研究のさらなる発展の芽を宿すものである。  
▶A5判・344頁／定価 4,200円 ISBN978-4-7842-1498-3

## 明治維新期の政治文化

佐々木克編

“19世紀における国際環境の中で、明治維新を考える”という京都大学人文科学研究所の共同研究「明治維新期の社会と情報」の研究成果をまとめたもの。政治史、文化史、思想史、精神史を融合した“政治文化”という視点から、明治維新期の諸問題にアプローチを試みた一書。  
▶A5判・390頁／定価 5,670円 ISBN4-7842-1262-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。